

追加型投信／海外／株式

<愛称> エマージング・フューチャー

JPM新興国 小型株式ファンド

第 6 期 交付運用報告書

(決算日：2023年6月12日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「JPM新興国小型株式ファンド」は、去る6月12日に第6期の決算を行いました。

当ファンドは投資先ファンドを通じて、新興国の小型株式および円建ての公社債を主要投資対象として運用を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的とします。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<お問い合わせ先>

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

TEL 03-6736-2350

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

am.jpmorgan.com/jp

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。運用報告書（全体版）の閲覧方法：上記URLにアクセス ⇒ 画面右上の検索マーク🔍を選択 ⇒ 当ファンドの名称を入力して検索 ⇒ 運用報告書（全体版）を選択

第6期末（2023年6月12日）	
基準価額	15,667円
純資産総額	1,984百万円
第6期 (作成対象期間：2022年6月14日～2023年6月12日)	
騰落率	4.9%
分配金（税込）合計	0円

(注) 騰落率は収益分配金（税込）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注) 当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注) 「JPモルガン・ファンズ・エマージング・マーケット・スモール・キャップ・ファンド」は「エマージング小型株式ファンド」ということがあります。

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6432 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号
東京ビルディング

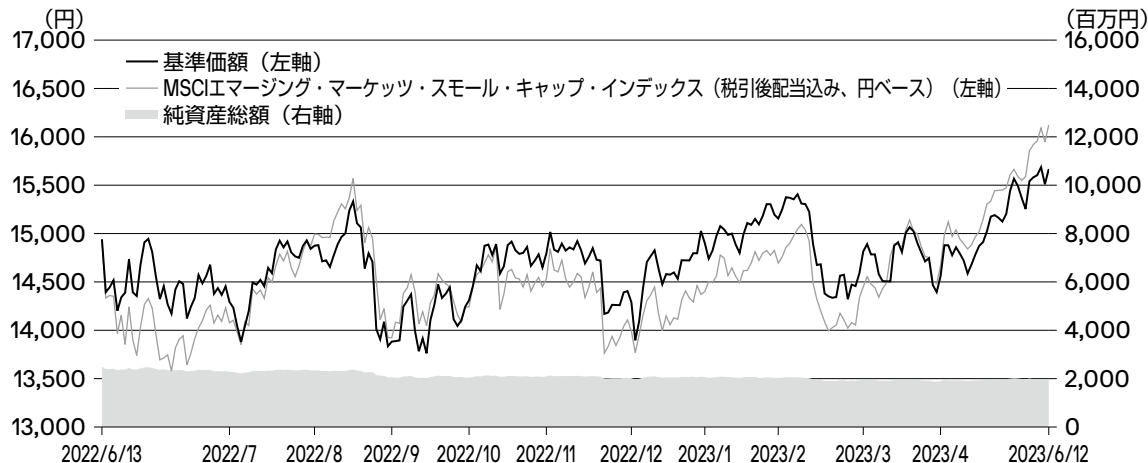
J.P.Morgan

ASSET MANAGEMENT

運用経過の説明

◎基準価額等の推移

(2022年6月14日～2023年6月12日)



期 首：14,941円

期 末：15,667円 (既払分配金 (税込)：0円)

騰落率： 4.9%

(注) 基準価額は、信託報酬控除後です (以下同じ)。

(注) MSCIエマージング・マーケット・スモール・キャップ・インデックス (税引後配当込み、円ベース) は、当ファンドの主要投資対象であるJPモルガン・ファンズ-エマージング・マーケット・スモール・キャップ・ファンドのベンチマークであり、当ファンドのベンチマークではありません (以下同じ)。

(注) MSCIエマージング・マーケット・スモール・キャップ・インデックス (税引後配当込み、円ベース) はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) MSCIエマージング・マーケット・スモール・キャップ・インデックスは、MSCI Inc.が発表しております。同インデックスに関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc.に帰属しております。MCSIエマージング・マーケット・スモール・キャップ・インデックス (税引後配当込み、円ベース) は、同社が発表したMCSIエマージング・マーケット・スモール・キャップ・インデックス (税引後配当込み、米ドルベース) を委託会社にて円ベースに換算したものです (以下同じ)。

◎基準価額の主な変動要因

当ファンドは、エマージング小型株式ファンドの組入れを高位に保つことにより、実質的に新興国の小型株式に投資を行っております。当期は、エマージング小型株式ファンドにおいて、保有銘柄の価格上昇などが基準価額を押し上げました。国別では、特に台湾やメキシコなどへの投資がプラスに寄与しました。

◎1万口当たりの費用明細

(2022年6月14日～2023年6月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	174 (48) (121) (5)	1.185 (0.329) (0.823) (0.033)	(a)信託報酬＝〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率 投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、目 論見書、運用報告書等の開示資料作成業務、基準価 額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価 販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、 交付運用報告書の交付業務、購入後の投資環境等の 情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価 受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの 指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれ らに付随する業務の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	88 (3) (85)	0.601 (0.022) (0.579)	(b)その他費用＝ $\frac{\text{〔期中のその他費用〕}}{\text{〔期中の平均受益権口数〕}}$ 監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法 人に支払われる費用 その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用 当ファンドが組入れているJPMエマージング・マー ケッツ・スモール・キャップ (Xクラス) の運用報 酬：純資産に対して年率0.50%
合 計	262	1.786	
期中の平均基準価額は、14,681円です。			

(注) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各項目の円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 各項目の費用は当ファンドが組み入れている投資信託証券（投資信託受益証券および投資証券）が支払った費用を含んでおらず、上記以外に間接的に負担している主な費用として、当ファンドが投資している投資信託証券には以下のものがあります。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における費用等については「組入上位ファンドの概要」に表示しています。

①JPMエマージング・マーケット・スモール・キャップ (Xクラス) (JPM Emerging Markets Small Cap X Class)

事務管理報酬：実費（ただし、純資産に対して年率0.15%を上限とします。）

その他費用：有価証券の売買にかかる費用・税金、外貨建資産の保管費用、臨時で発生する費用、その他の税金等

②GIMジャパン・マネーボール・ファンドF (適格機関投資家専用)

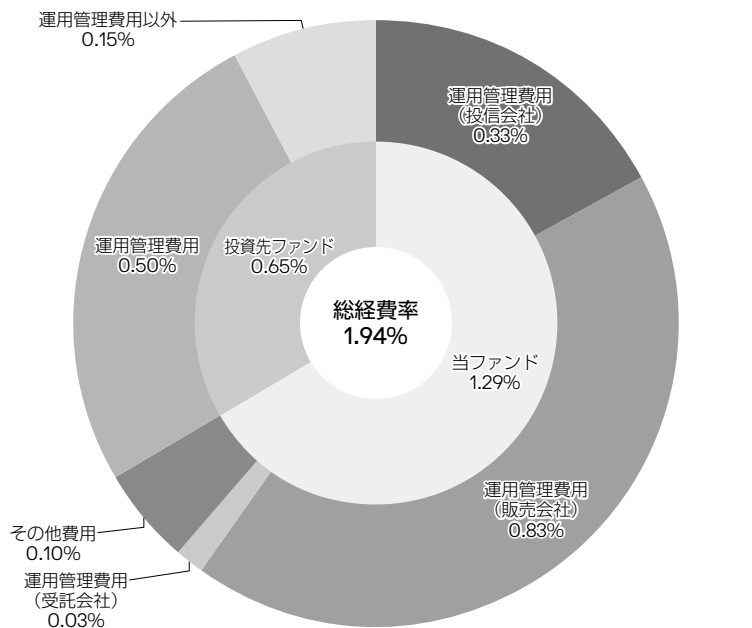
信託報酬：年率0.1045% (税抜0.095%)

監査費用：年率0.022% (税抜0.02%) ただし、年間330万円 (税抜300万円) を上限とします。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.94%です。



(単位：%)

総経費率 (①+②+③)	1.94
①当ファンドの費用の比率	1.29
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.50
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券です。

(注) それぞれの投資先ファンドの費用は以下簡便法により算出した合計値です。

JPMエマーシング・マーケット・スモール・キャップ (Xクラス)：当ファンドの目録見書に記載した当該投資先ファンドの運用管理費用を上記②とし、当該投資先ファンドの直

近の計算期末時点におけるTER (総費用率) を上記③とする簡便法。

GIMジャパン・マネーボール・ファンドF (適格機関投資家専用)：当該投資先ファンドの直近の計算期末時点における運用報告書1万口当たりの費用明細において用いた簡便法

(注) GIMジャパン・マネーボール・ファンドF (適格機関投資家専用)の費用は、GIMマネーボール・マザーファンド (適格機関投資家専用) が支払った費用を含みます。

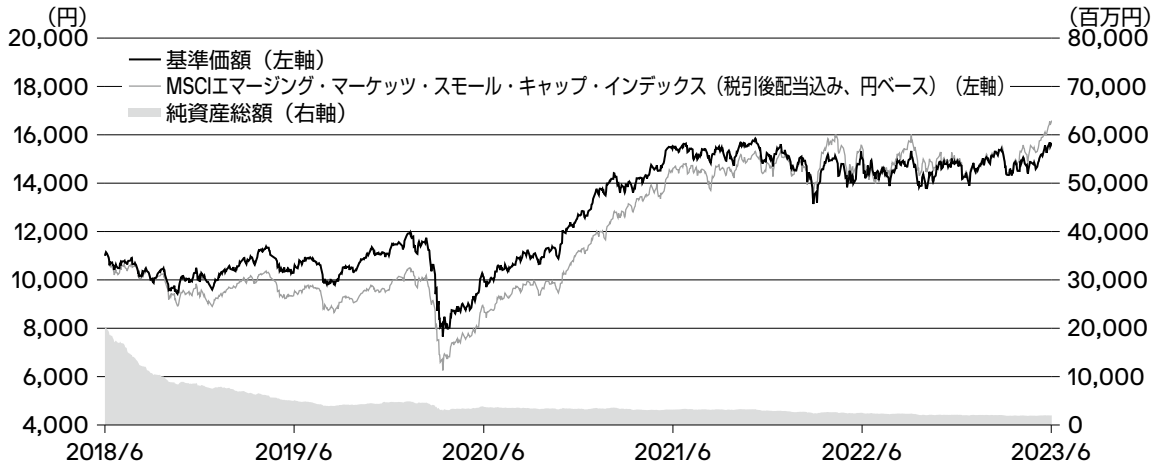
(注) 当ファンドの費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

◎最近5年間の基準価額等の推移

(2018年6月12日～2023年6月12日)



(注) MSCIエマージング・マーケット・スモール・キャップ・インデックス (税引後配当込み、円ベース) はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2018年6月11日 決算日	2019年6月11日 決算日	2020年6月11日 決算日	2021年6月11日 決算日	2022年6月13日 決算日	2023年6月12日 決算日
基準価額 (円)	10,997	10,474	10,113	15,526	14,941	15,667
期間分配金合計 (税込) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	△4.8	△3.4	53.5	△3.8	4.9
MSCIエマージング・マーケット・スモール・キャップ・インデックス (税引後配当込み、円ベース) 騰落率 (%)	—	△14.0	△6.3	64.9	5.2	7.9
純資産総額 (百万円)	19,971	5,076	3,792	3,189	2,486	1,984

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

【投資環境】

○株式市況

新興国の小型株式市場の動向を表す、MSCIエマージング・マーケット・スモール・キャップ・インデックスは前期末比で上昇しました。

◆期首から2022年12月にかけては、インフレ率や成長見通しの悪化に加え、米国の利上げやFRB（米連邦準備制度理事会）のパウエル議長がジャクソンホール会議で金融引き締め継続の意向を示したことなどが悪材料となった一方、米消費者物価指数等でインフレ率鈍化の兆しが見られたことや中国で新型コロナウイルス関連の規制緩和が発表されたことなどが支援材料となり、一進一退の展開となりました。

◆1月以降は、米国の底堅い経済指標を受けて再び利上げ継続への懸念が強まったこと、米中間の緊張が高まったこと、米国のシリコンバレー銀行破綻などによって金融システムへの不安が高まったことなどが重石となったものの、中国で引き続き消費の回復など経済再開が確認されたことや、新興国各国でインフレ鈍化が確認されたことなどが好材料となり、上昇しました。

※株式市場の動きは、MSCIのインデックス（配当なし、現地通貨ベース）を使用しております。MSCIのインデックス（現地通貨ベース）は、MSCI Inc.が発表しております。同インデックスに関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc.に帰属しております。

○為替市況

為替市場では、多くの投資通貨が対円で下落した中、トルコリラなどの下落幅が大きくなりました。

【運用経過】

1) 基準価額の推移

基準価額の騰落率は+4.9%となりました。

2) 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、エマージング小型株式ファンドの組入れを高位に保つことにより、実質的に新興国の小型株式に投資を行っております。当期は、エマージング小型株式ファンドにおいて、保有銘柄の価格上昇などが基準価額を押し上げました。国別では、特に台湾やメキシコなどへの投資がプラスに寄与しました。

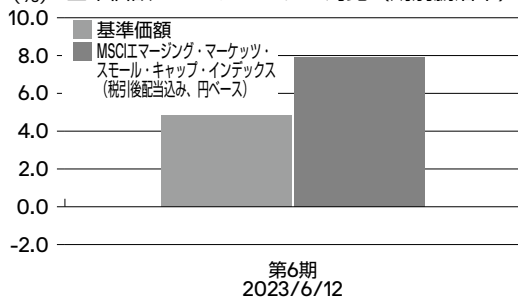
3) ポートフォリオについて

エマージング小型株式ファンドを高位に組み入れました。

エマージング小型株式ファンドにおける国別の投資配分については、台湾などの投資比率を高めとしました。

◎当ファンドのベンチマークとの差異

(%) 基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 当ファンドはベンチマークがないため、ベンチマークに代えて当ファンドの主要投資対象であるJPモルガン・ファンズ・エマージング・マーケット・スモール・キャップ・ファンドのベンチマークとの対比を記載しています。

◎分配金

基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、無分配としました。留保益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込)

項目	第 6 期
	2022年6月14日～2023年6月12日
当期分配金	-
(対基準価額比率)	-%
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	5,667

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
(注) 円未満は切捨てです。当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

◎今後の見通し

- ◆サプライチェーン制約や輸送費・エネルギー価格高騰、コモディティ供給不足といった問題も改善しつつある中、インフレ率は世界的に低下傾向が続くと見えています。FRBによる利上げサイクルは最終局面であり、新興国地域においても今後利下げの可能性があると見えています。2022年10月には、米ドルが1980年代以降の最高値を記録しましたが、それ以降は20%近く下落しています。2023年において米ドルはさらに下落するか、少なくとも同様の水準を維持すると見えています。過去、新興国株式は米ドルが横ばいまたは下落している局面でパフォーマンスが良好となる傾向が見られてきました。
- ◆新興国の他地域に大きな影響を与える中国の成長見通しは、経済が再開する中で改善が期待でき、2023年は5%程度のGDP成長が見込まれています。内需回復が経済成長にとって重要であることから消費者信頼感指数の動向に注目しています。ロックダウンによって悪化したものの改善傾向にあり、今後も徐々に回復すると見えています。
- ◆新興国株式のバリュエーション(株価収益率等)は、全体では過去15年平均を下回る水準であり、割安な投資機会があると考えています。新興国では2022年に業績の下方修正が先行しており、2023年は中国経済再開の恩恵を受けるセクターや国の企業を中心に業績が改善する可能性があると考えています。

◎今後の運用方針

投資先ファンドを主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長をはかることを目的として運用を行います。

お知らせ

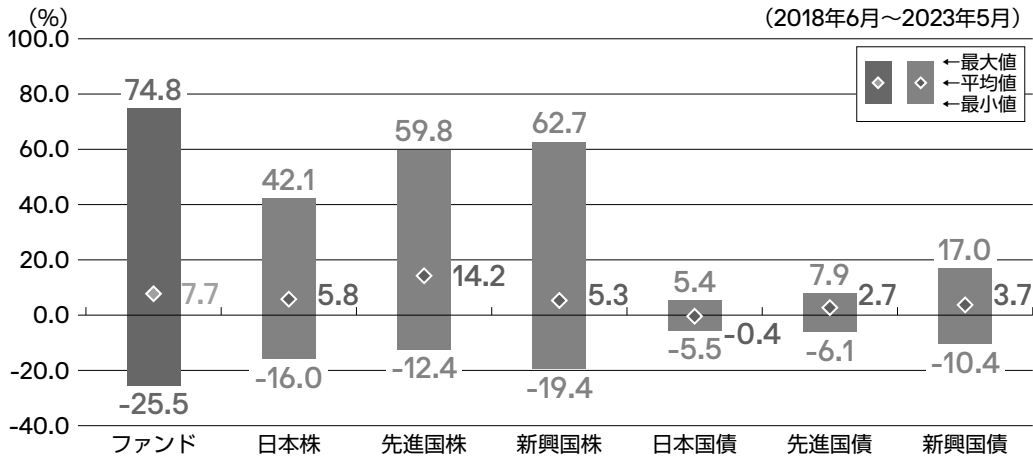
- ・2022年9月13日付で、計算期間の最初の6ヵ月終了日が休業日の場合は翌営業日を当該終了日とする変更を行うため、また資金動向、市況動向、経済情勢、投資環境等の変化に対応するために、やむを得ない事情がある場合には投資態度にそった運用が行えない場合がある旨の記載を追加するため、信託約款に所要の変更を行っております。

当該投資信託の概要と仕組み

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2017年6月12日から2027年6月11日（休業日の場合は翌営業日）までです。	
運用方針	投資先ファンドを通じて、主として、新興国の株式の中から、成長性が高いと判断される小型株式に実質的に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をはかることを目的として運用を行います。	
主要投資 (運用) 対象	当ファンド	以下の2ファンドを主要投資対象とします。
	①JPモルガン・ファンズ-エマージング・マーケット・スモール・キャップ・ファンド 新興国の小型株式を主要投資対象とします。 ②GIMジャパン・マネープール・ファンドF（適格機関投資家専用） GIMマネープール・マザーファンド（適格機関投資家専用）を通じ、日本の発行体が発行する円建ての公社債を主要投資対象とします。	
組入制限および 運用方法	当ファンド	ファンド・オブ・ファンズ方式により運用します。「JPモルガン・ファンズ-エマージング・マーケット・スモール・キャップ・ファンド」の組入比率を高位に保つとともに、円建ての公社債に投資する「GIMジャパン・マネープール・ファンドF（適格機関投資家専用）」にも投資します。 ・株式への直接投資は原則として行いません。なお、投資先ファンドを通じて株式へ投資します。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ・投資信託の受益権等の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
	①JPモルガン・ファンズ-エマージング・マーケット・スモール・キャップ・ファンド 新興国の小型株式を中心に投資します。 当該投資先ファンドが保有する株式の加重平均時価総額は、新興国の大型株、中小型株を対象とする指数であるMSCIエマージング・マーケットIMI（インベストابل・マーケット・インデックス）の加重平均時価総額を常に超えないものとします。 <small>（注）MSCIエマージング・マーケットIMI（インベストابل・マーケット・インデックス）は、MSCI Inc.が発表しています。同インデックスに関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc.に帰属しています。</small> 運用プロセス <1>個別銘柄の調査・分析（ボトムアップ・アプローチ） <2>組入銘柄の絞り込み <3>組入銘柄組入比率の決定 ②GIMジャパン・マネープール・ファンドF（適格機関投資家専用） マザーファンドを通じ、日本の発行体が発行する円建ての公社債を中心に投資し、元本の安定性と安定した収益の確保を図るとともに、高い流動性の確保に配慮します。 株式への実質投資割合は、純資産総額の10%以下とします。外貨建資産には投資しません。	
分配方針	年1回の決算時（6月11日（休業日の場合は翌営業日））に、委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

年間騰落率(毎月末時点)の平均と振れ幅を、ファンドと代表的な資産クラスとの間で比較したものです。



(注)

- ファンドの年間騰落率(毎月末時点)は、毎月末とその1年前における基準価額を対比して、その騰落率を算出したものです。(月末が休日の場合は直前の営業日を月末とみなします。設定から1年未満の時点では算出されません。)
- 基準価額は、信託報酬控除後です。
- 代表的な資産クラスの年間騰落率(毎月末時点)は、毎月末とその1年前における下記の指数の値を対比して、その騰落率を算出したものです。(月末が休日の場合は直前の営業日を月末とみなします。)
- ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較は、上記の5年間の毎月末時点における年間騰落率を用いて、それらの平均・最大・最小をグラフにして比較したものです。
- ファンドは、代表的な資産クラスの全てに投資するものではありません。
- 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

○代表的な資産クラスを表す指数

- 日本株・・・TOPIX(配当込み)
- 先進国株・・・MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)
- 新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)
- 日本国債・・・NOMURA-BPI(国債)
- 先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-エマージング・マーケット・グローバル(円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジを行わないものとして算出されたものです。なお、MSCI コクサイ指数(配当込み、円ベース)およびMSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、委託会社に円換算しています。

TOPIX(東証株価指数)は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る商標又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。MSCIコクサイ指数およびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が発表しています。同インデックスに関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc.に帰属しています。MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、同社が発表したMSCIコクサイ指数(配当込み、米ドルベース)およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、米ドルベース)を委託会社にて円ベースに換算したものです。

NOMURA-BPI(国債)は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が作成している指数で、当該指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しております。また、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。JPモルガンGBI-エマージング・マーケット・グローバルは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しています。

当ファンドのデータ (2023年6月12日)

◎組入資産の内容

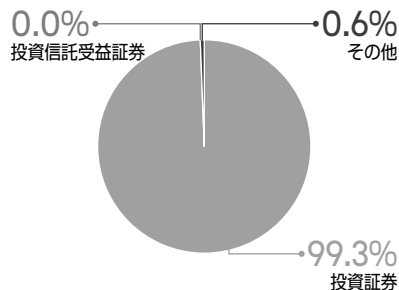
○組入ファンド等

	%
JPMORGAN FUNDS-EMERGING MARKETS SMALL CAP FUND X	99.3
GIMジャパン・マネーパール・ファンドF (適格機関投資家専用)	0.0
その他	0.6
組入銘柄数	2銘柄

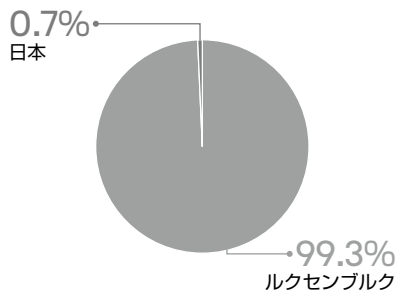
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) その他は現金・預金・その他資産(負債控除後)です(以下同じ)。

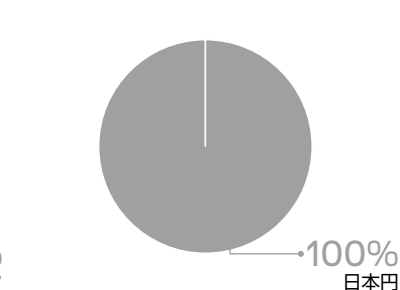
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分は発行国または地域を表示しています。なお、当ファンドの実質的な投資内容は、次ページ以降をご参照ください。

◎純資産等

項 目	当期末
	2023年6月12日
純 資 産 総 額	1,984,977,652円
受 益 権 総 口 数	1,266,954,110口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額	15,667円

(注) 当期中における追加設定元本額は23,137,326円、同解約元本額は420,650,206円です。

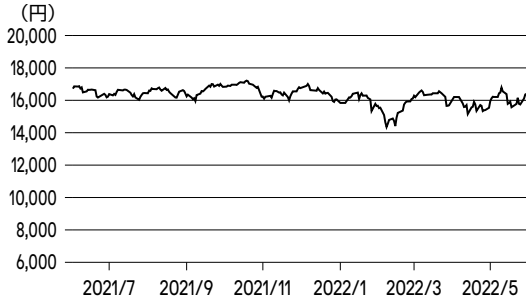
◎組入上位ファンドの概要

◆JPモルガン・ファンズ・エマージング・マーケッツ・スモール・キャップ・ファンド (2022年6月30日)
 JPMエマージング・マーケッツ・スモール・キャップ (Xクラス)

新興国の小型株式を主要投資対象とします。

○基準価格の推移

(2021年7月1日～2022年6月30日)



○直近計算期間におけるTER (総費用率)

0.15%

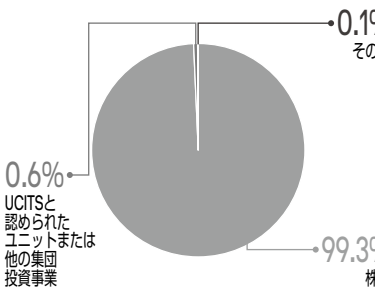
(注) TER (総費用率) は、運用にかかる費用の合計をファンドの純資産の日次平均に対する比率で表したものです。
 運用にかかる費用の合計には、保管報酬、税金、その他費用が含まれております。
 当座貸越利息と実績報酬は計算対象から除いております。日々の純資産に対してかかる年率0.50%の運用報酬は含みません。
 (注) 1万口当たりの費用明細が取得できないため、TER (総費用率) を表示しています。

○組入上位10銘柄

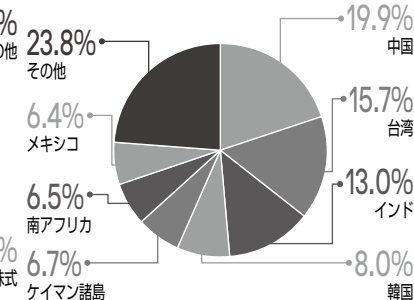
銘柄名	国 (地域)	業種/種別等	比率
Global Unichip Corp.	台湾	情報技術	2.3%
Dino Polska SA, Reg. S	ポーランド	生活必需品	2.2
Parade Technologies Ltd.	米国	情報技術	2.2
Hangzhou Robam Appliances Co. Ltd. 'A'	中国	一般消費財・サービス	2.1
Chacha Food Co. Ltd. 'A'	中国	生活必需品	2.0
Eclat Textile Co. Ltd.	台湾	一般消費財・サービス	2.0
Clicks Group Ltd.	南アフリカ	生活必需品	2.0
JS Global Lifestyle Co. Ltd., Reg. S	香港	一般消費財・サービス	2.0
Grupo Aeroportuario del Sureste SAB de CV, ADR	メキシコ	資本財・サービス	1.9
ASPEED Technology, Inc.	台湾	情報技術	1.9
組入銘柄数	96銘柄		

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しています。
 (注) 国 (地域) についてはMSCI分類、業種についてはGICS分類に基づき表示していますが、当社グループの判断に基づき分類したものが一部含まれます。
 (注) 比率は純資産総額に対する割合です。

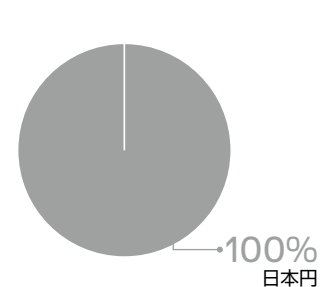
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。
 (注) 資産別配分のその他は現金・預金・その他資産 (負債控除後) です。国別配分のその他は現金・預金・その他資産 (負債控除後) を含みます。
 (注) 国別配分は、監査済み年次報告書にもとづき表示しています。
 (注) 通貨別配分は、監査済み年次報告書に開示されていないため、建値通貨を表示しています。

◎組入上位ファンドの概要

◆GIM ジャパン・マネーパール・ファンドF（適格機関投資家専用）（2023年1月16日）

GIM ジャパン・マネーパール・ファンドF（適格機関投資家専用）は、GIM マネーパール・マザーファンド（適格機関投資家専用）を主要投資対象とします。

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

(2022年1月15日～2023年1月16日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 信 託 報 酬	10	0.105
（ 投 信 会 社 ）	(7)	(0.072)
（ 販 売 会 社 ）	(1)	(0.011)
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.022)
(b) そ の 他 費 用	7	0.073
（ 監 査 費 用 ）	(2)	(0.020)
（ そ の 他 ）	(5)	(0.054)
合 計	17	0.178

期中の平均基準価額は、9,976円です。

(注) 項目の概要については、前記当ファンドに投資している投資信託の運用報告書「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注) 各項目は簡便法により算出し、円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○マザーファンドの組入上位10銘柄

銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
第141回利付国債(5年)	国債証券	日本円	日本	29.2%
第340回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	13.9
第353回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	6.4
第116回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	2.7
第154回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	1.7
第129回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	0.9
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
組入銘柄数	6銘柄			

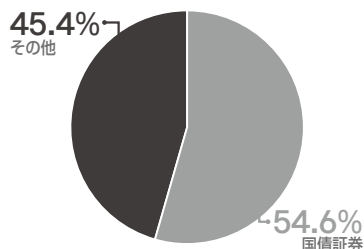
(注) 国（地域）は発行国または地域を表示しています。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) ファンドはマザーファンドを通じて投資を行うため、マザーファンドの投資銘柄をファンドが直接保有しているものとみなし、ファンドの純資産総額に対する投資比率として計算しています（以下同じ）。

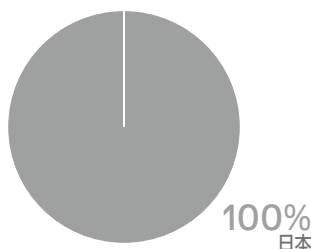
○資産別配分



(注) 国別配分は発行国または地域を表示しています。

(注) その他は現金・預金・その他資産（負債控除後）です。

○国別配分



○通貨別配分

